



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO WEST

BAMBOO

WEB版

8

318

2006年8月号

標語

国際会長 “Active Participation with Love”
 アジア会長 “Partipation and Inspiration”
 西日本区理事 “One for All, All for One”
 京都部部长 「百花繚乱 - 京都部 - 」

今月の聖句

わたしはこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。

マタイによる福音書第20章14節

クラブ会長標語

Heart Sharing

会長 河合久美子 副会長 桂厚子、岩本敬子 書記 牧野万里子、星野淑子 会計 大西光子、金澤典子

今「ウエスト」に思う

寺井 幸生



「ちょっと見に来てな！」と元ウエストメンバーに誘われブリテン委員会に寄せて頂いて早17年。6月24日の引継例会が最後のウエストメンバーとしての場となりました。例会中、ウエスト17年間の思い出が蘇って涙、メンバーの暖かい激励の言葉に涙、森田さんからの温かな餞の言葉に涙。涙、涙、感無量の一時でした。改めてメンバーのみなさんにお礼申し上げます。「ありがとうございました」

今、ワイズライフを振り返ってみて、相田みつを氏の「その時の出逢いが人生を根底から変えることがある、よき出逢いを」の詩がありますが、良き人、良き奉仕活動との出逢いに支えられ、社会人として、人間として成長させて頂いたと思っています。17年のワイズライフには挫折の時もありました、そんな時に引っ張って頂いた先輩メンバーが、誰もが何らかの悩みを持ちながら生活している中でワイズを続けられる喜びを話された事や、「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」の言葉を実践されていたメンバーの勇姿が支えとなったことが脳裏に残っています。ウエストは素晴らしい人が集ってくるクラブだと思います、退会された方々は最後にメンバーとの別れが一番辛いと去っていかれますが、私も最後に一番辛かった点です。退会届を提出してから役

員会、例会で又、メンバーの方々からの電話やメールでウエストの話やワイズの話を見せて頂きましたが、もっと前から話しが出来る機会がもてれば良かったのではないかと反省をしています。ワイズを楽しむためにはまず参加することです。自分には出来そうでない、楽しそうでないの不参加でなく積極的参加です。出かけて見なければ分かりません、色々な活動を体験し知り、感じる事です。活動を通じての仲間は信頼関係も深く、厚くなっていきますし、目標となるメンバー、競い合うライバルメンバーとの出会いの場です。メンバー同士の結束も高まり活動の輪が広がっていき、新しい活動の出発点でもあります。ワイズで培われた力は仕事や地域社会のリーダーとして十分発揮出来るものです。ワイズライフの出逢いの中で自分自身の新たな発見を大いに楽しんで頂きたいと思います。最後にほんとうにお世話になりました。益々のウエストクラブのご発展をお祈りしています。

7月在籍者		例会出席率		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
会 員	第一例会	第二例会	%	切手	0.Pt	第一例会	ネットファンド		
28名	刈	5名		現金	0.Pt		円	0円	
広義・功労会員	刈	3名	(メイキャップ館)			第二例会			
0名	ネット	0名				19,360円			
	ビジター	0名	前月出席率	累計				ファンド	
合 計	ゲスト	0名	修正	切手	0.Pt	累計		年間合計	
28名	計	6名	なし	現金	0.Pt	19,360円		円	

YMCA リトリートセンター開設ワーク

6月25日(日)リトセン

吉田 和雄 Yサ委員長

前日の引継例会の興奮がさめやらない6月25日(日)リトセン開設ワークが行われました。午前9時半に集合し、挨拶、説明等がありワーク開始。ウエストの担当は、食堂の屋根清掃、トイレ清掃等でした。順調にスタートしたワークでしたが、なんと雨が。「ウエスト予報」によると「晴れ」のはずだったのに。それでも、なんとか午前のワーク終了でお楽しみの昼ごはん、グローバルクラブさんが前日から仕込んだというカレーライスでした。午後のワークも降り続く雨の中行われましたが、予定より早く2時にケガもなく無事終了しました。参加された皆さんの力が発揮され、有意義なワークでした。雨の中おつかれさまでした。



参加 メン5名、メネット1名 計6名

西日本区 地域奉仕事業研修会報告

7月22日(土)

中村 豊 地域奉仕委員長

7月22日(土)午後、表記の研修会が開かれた。森本新

理事の挨拶に始まり、石倉新事業主任の今年度の事業方針の表明に続き、大谷直前主任の一年間を振り返って、地域奉仕事業の全体理解を図る時間がもたれた。

今年度の事業方針では、前期から始められた国際統一事業としてのSTOP HIV/AIDS

プログラムを続けて行く事のほかに、例年通りCS資金・TOF献金・FF献金の目標達成が謳われた。FF献金については、前期では達成率が76%と振るわず。献金なしのクラブをなくしたい旨、新主任のアピールがなされた。引き続き各部の事業主任の決意と活動方針が発表されたが、配布された研修会資料には瀬戸山陰部の分しか用意されず詰めめの甘さが見られた。

その後、先ほどの国際統一事業に因んで、特別講演があり京都大学大学院医学研究科の木原助教授による研究成果を発表という形で、日本の中学・高校生に性に関する実態調査の結果や彼等への啓発の為の自らの授業の様子などがパワーポイントとビデオを使って紹介された。ここでは詳しくは紙幅がありませんが、今の若者のせいに関する事もけなげな考えと行動にエッそんなの有り?と首を傾げたくなるのでした。これが原因で彼らに性病が蔓延しているのでしょうか。

今回の研修会で、個々のクラブの普段の活動についての発表会や意見交換を期待していましたが、そうした時間が無く残根でしたが、むしろ後半の木原助教授の講演がしっかりと印象に残りました。20万人の中・高校生にアンケートを取ってこれを集計したり全国津々浦々の中・高校でAIDSに関する一種の性教育に励んでおられ、そこ様子をは助教授としての研究を極めるだけでなく、一女性として又母として中・高校生に諭すように優しくAIDSを説いて折られ、そこに仕事抜きの暖かい、尊い、熱いものを私は見ました。因みに同助教授は25才になる子女をお持ちの女性です。

キックオフ例会報告

7月27日(木)リーガロイヤルホテル

中原 一晃

第602回例会は河合期のキックオフ例会として7月27日(木)リーガロイヤルホテルで開催されました。緊張の中にも河合会長の開会点鐘で幕が開き「Heart-Sharing」という挨拶でいよいよ始動です。本日のゲストは8月のスピーカーでお出でいただく吉田さん。お話楽しみです。しっかりとしたお考えと揺ぎ無い信念が前面に出て熱く語られる河合会長の挨拶の後、私の久しぶりの食前感謝の挨拶。緊張も無くゆっくり話が出来た気がしました。ホテルからのお祝いシャンペンで乾杯の後、美味しいお料理に舌鼓、食事の後には女性陣一同、順に三役一人一人の抱負と挨拶、

いきなりの指名に戸惑いながらも挨拶はずばり端的に。時間のあまり過ぎる進行にドギマギの野田司会。続きましては男性陣、委員長の挨拶と所信表明。流石！高野環境委員さん急な指名にびくともせず、宣伝する自分の事を。各委員長は考えています。特にファンドの山下委員長。前日のゴルフファンドで味をしめて、毎月続けるだって！例会でも野田屋特製珍味の販売。委員会ごとのドアプライズファンドの開催と、やっぱり儲けるのはうまい！島田EMC委員長も緊張の中にやる気満々、それぞれが固い決意を表明しました。楽しまないと面白くない。みんなで今期の役員を支えてワイズ活動を突りあるものにしたいと思います。初めてのドライバー塚本ワイズもウロウロ。慣れないCDの操作でしたが次回からはパッチリです。最後に西日本区からワイズ必携編集特別委員会に森田ワイズと僭越ながら私に情報委員会委員の委嘱状が手渡されました。さあ今日から正式に女性三役キャビネットの河合期スタートです。思っている以上に他クラブからも熱い視線で注目されています。今まで培ってきたウエストらしさを大事にしてメンバーみんなで盛り上げいっしょに楽しみましょう。



河合会長の所信表明



司会の野田ワイズ

参加：メン 20 名、メネット 3 名、ゲスト 1 名 計 24 名

7月号の誤記載の訂正とお詫び

ブリテン7月号(317号)の「三役・事業委員長の紹介」の中の安平広報委員長のコメントがご本人とは別のものが掲載されてしまいました。お詫びして以下のように訂正いたします。

訂正内容：

広報委員長 安平智史

今期の広報委員会としましては、沢山の方々にワイズメンズクラブ、ウエストクラブの事を知って頂き興味を持ってもらえるような広報活動を目指します。

まず充実したホームページの作成、クラブ外の方々がみてもわかりやすいページ作りをします。

それからウエストクラブ、ワイズメンズクラブを、アピールする為、EMC委員会とドライバー委員会とコラボレーションして色々な企画を開催していきたいと思えます。広報委員会の事業のメインとしましては

11月に企画している100人例会。PTを組んで成功させたいと思っておりますので皆さんのご協力宜しくお願い致します。

以上

ブリテン7月号の7月Happy Birthdayコーナーに金澤典子ワイズのお名前が抜けておりました。お詫びして訂正致します。

ブリテン委員会よりお知らせ

毎月のブリテンにメンバーからの「広告」を募集することを計画しています。お仕事の事、個人的な事、各委員会の告知・報告などには是非ブリテンをご活用されては如何でしょうか？

詳しくはブリテン委員会までお問い合わせ下さい。


8月 Schedule

7月31日	(月)	三役会	19:00~	今出川 YMCA
8月 3日	(木)	役員会	19:30~ 21:00	リーガ ロイヤル
8月10日	(木)	第一例会 総会	19:00~ 21:00	リーガ ロイヤル
8月24日	(木)	第二例会	19:00~ 21:00	リーガ ロイヤル
8月27日	(日)	徳義会夏祭り	未定	平安徳義 会

9月 予 定 抄

9月 3日	(日)	リトセン秋の 準備ワーク	未定	リトリ センター
9月 4日	(月)	三役会	19:00~	今出川 YMCA
9月 7日	(木)	役員会	19:30~ 21:00	リーガ ロイヤル
9月10日	(木)	京都部会	15:30~	琵琶湖 ホテル
9月28日	(木)	第二例会	19:00~ 21:00	リーガ ロイヤル

8月 Happy Birthday

	メン		メネット	
		高野 忠男		市橋 ちさ
		笹山 信泰		大西 洋

8月 他クラブ例会案内

	第一例会		第二例会	
	日程	場所	日程	場所
パレス	9日	ブライトン	23日	ブライトン
洛中	10日	三条YMCA	27日	サバエキャン プ場
みやび	2日	三条YMCA	23日	セントノーム

7月 役員会議案書報告

議案 1	2006.7~2007.6年度 通常例会においてメンバーが欠席 の場合、メネットの登録費はなしと する。 通常例会における登録費 軽食例会登録費ゲスト¥3,000 メ ネット・コッメト¥2,000 とする。 通常例会登録費ゲスト¥5,000 メ ネット・コッメト¥3,000 とする。	承認
議案 2	新入会員のクラブ会費の件 クラブ会費は月額¥16,000 とし入 会金は¥30,000 とする。	承認
議案 3	広報主催例会のPTの委員長は安 平広報委員長とし 委員は委員長 に一任する。	承認
議案 4	CSボーリング大会の委員長は中 村地域委員長とし 委員は委員長 に一任する。	承認

YMCA News

1. ワイズワーク感謝!

6月25日(日)にはリトリートセンター開設ワーク、7月2・9日(日)にはサバエキャンプ場開設ワークのご奉仕、多くのワイズメンのご協力ありがとうございました。おかげさまで、夏のプログラムも順調にスタートすることができました。“多くの子供たちに素敵な夏を”とYMCAスタッフ、ボランティアリーダー一同、プログラムの工夫やトレーニングに懸命にがんばっております。また、9月3日(日)にはリトリートセンター秋期準備ワークを予定しております。よろしくお願ひ致します。

2. 京都YMCA平和の集いのご案内

平和を実現する人々は幸い ~東北アジアではたす、わたしたちの働きは

テーマ:「NGOの働きに学ぶ ~もうひとつの世界を目指して~」

日時: 8月4日(金)午後7時~8時30分

場所: 京都YMCA 三條本館

講師: 君島 東彦(きみじまあきひこ)さん

立命館大学国際関係学部教授 非暴力平和隊・日本共同代表
参加費: 無料

お申込み・お問合せ 電話(075)231-4388

3. 後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

9月6日(水)午前10時より一般の方の後期募集がはじまります。

お知り合いの方で興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。

ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。

グローバルアウトドアクラブ
電話(075)231-4388

スイミング・体育
電話(075)255-4709

編集後記 プリテン委員長 立山 隆一

7月号のプリテンでは発行の遅れ並びに訂正箇所も多くご迷惑をお掛けいたしました。8月号はその反省に立って編集を行いました。・・・また何かありましたら遠慮なくご指摘下さい。 よろしくお願ひいたします。

今月の聖句の解説

by: 辻中連絡主事

夜明けから働いた労働者は、ぶどう園に送ってくれた主人の恵みを忘れてしまい、夕方から一時間しか働かなかった者が、自分と同じデナリオンを受け取ったことが許せませんでした。彼らは天の国の恵みを正しく受け止め損なったのです。神様からご覧になれば、わたしが何ができるとか、できないとか、そういうことで、わたしの価値が計られるものではありません。「自分のものを自分のしたいようにしては、いけないか。」これは私たちへの神の全く自由な愛の迫りです。私たちがこの地上にあって天の国の喜びと希望に生きる者となるように、主はいつも招いておられるのです。